



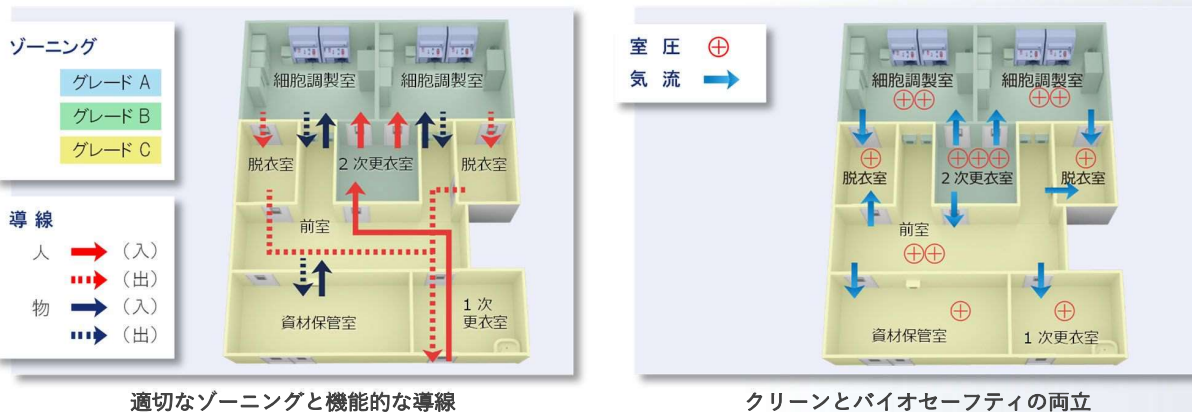
精研が目指す

近未来のCPC

新しい医療として注目される再生医療。再生医療は、これまで有効な治療法がなかった疾患の治療ができる等、医療の発展に貢献。高い期待が持たれています。精研は今、細胞培養加工施設(CPC)のトータルエンジニアリングを通じて、再生医療発展に貢献します。

細胞培養加工施設*Cell Processing Centerに必要な環境

- ① レギュレーションへの対応
- ② 適切なゾーニングと機能的な導線
- ③ クリーン（清浄度の確保）とバイオセーフティ（交差汚染防止）の両立



精研では、医薬研究施設やGMP対応の医薬品製造施設で長年培ってきたクリーンルームや室圧制御の技術、澱みのない気流環境を実現する気流解析技術、生産効率向上を目指す導線計画レイアウトによる施工実績が多数あり、CPC構築も得意としています。

精研のCPCへの取り組み

精研のCPCへの取り組みとして、無菌保証・室圧・気流計画・生産効率向上・機能的な導線レイアウト、さらに環境モニタリングやIoT活用等をご提案いたします。また、再生医療イノベーションフォーラムやiPS細胞ビジネス協議会への参加活動を通じて、CPCの発展に取り組んでいます。

精研はトータルエンジニアリングを通じてサポートいたします

クライアントからの声を大切に、それぞれの状況に応じたCPCデザインをオーダーメイドし、スタートからゴールまでトータルでサポート。運用開始がゴールではなく、施設が動き続けるかぎり、安心してご利用いただけるよう、バリデーションや保守メンテナンスも実施いたします。医薬研究・製造施設の空調設備に長年携わってきた精研に、ぜひお任せください。

